



くまもと型伝統構法

住まいの見学会 12月17日(水)

木のぬくもりと職人の技が
息づく「くまもと型伝統構法」

地元の木材を活かし、昔ながらの木組みを現代に生かした熊本ならではの建築手法です。自然と調和し、世代を超えて受け継がれるこの建築文化を、もっと多くの方に知っていただきたい。

このたび、施主・設計・施工を株式会社豊工務店が担い、伝統構法を用いた木造建築が完成しました。地域の魅力と未来へつながる建築の力を体感できる見学会を開催します。

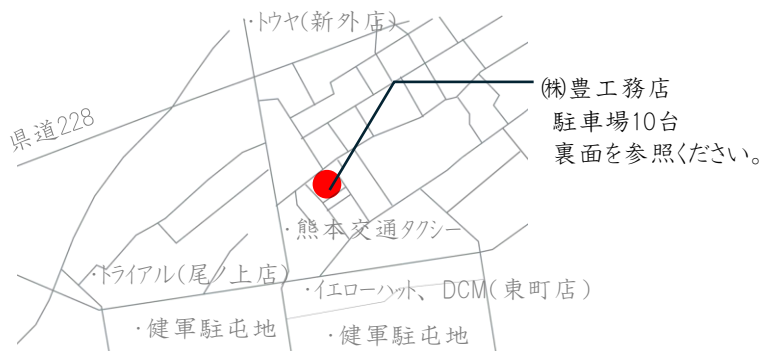
ぜひお気軽にお越しください。

- ① 10:00～11:00 ② 11:30～12:30
③ 14:00～15:00 ④ 15:30～16:30

- ・チラシ裏面から申し込みください。
- ・事前申込み制です。定員(各15名)になり次第、受付を締切ります。
- ・申込締切:12月10日(水)まで

■対象者:一般の方、学生、建築関係者等

■場所:株式会社 豊工務店(熊本市東区山ノ内1丁目3-1)



【主催】

くまもと型木造伝統構法普及検討委員会、(一財)熊本県建築住宅センター、熊本県

【協力】

株式会社 豊工務店(施主・設計・施工)

申込みフォーム 【締切:12月10日(水)まで】

- ・ご希望される時間帯を下記QRよりお申込みください。
- ・事前申込み制です。定員(各15名)になり次第、受付を締切ります。
- ・ご希望の時間帯の受付が締め切れおりましたら、他の時間帯での申込みください。

12月17日(水)

① 10:00～11:00



② 11:30～12:30



③ 14:00～15:00



④ 15:30～16:30



くまもと型伝統構法とは・・・

「くまもと型伝統構法」は、熊本県が令和2年に策定した設計指針に基づく独自の木造建築手法です。伝統的な継手・仕口(追掛大栓継ぎ、腰掛鎌継ぎ、台持ち継ぎ、渡り顎など)を基本とし、金物に依存せず木材同士の組み合わせによって構造体を成立させます。これらの接合部を用いた壁は、実大実験や数値解析によって耐力・変形性能が検証されており、建築物全体を現行の耐震基準に適合することが可能となります。特に、込み栓やくさびを用いることで、繰り返し荷重に対する靱性が高まり、地震時のエネルギー吸収性能に優れる点が特徴です。

さらに、地元産材を積極的に活用することで森林資源の循環利用を促進し、林業・製材業・大工技術の継承にも寄与します。伝統技術の保存にとどまらず、耐震性・持続可能性・地域性を兼ね備えた木造建築のモデルとして、設計・施工の現場で注目を集めています。

一 建築物の概要一

用途：一戸建ての住宅(厚生棟)

構造：くまもと型木造伝統構法

規模：平屋建て、建築面積84.30㎡
延床面積63.01㎡

竣工：令和7年1月

施主：(株)豊工務店

設計：〃

施工：〃



一 場所一

見学者用駐車場10台
(乗り合せをお願いします)



【問い合わせ】

熊本県庁 建築課 建築指導班

〒862-0950

熊本市中央区水前寺6丁目18-1

電話：096-333-2534

メール：kenchiku@pref.kumamoto.lg.jp